

東京学芸大学大学史資料室常設展示

Gakugei
Album
2025
Spring



師範学校の歴史をふり返る
學藝アルバム



●写真上：「東京府女子師範学校・制服・和装(1926年)」[東京府女子師範学校 第24回卒業記念] 1926年3月
●写真下：「世田ヶ谷の原に立つ新校舎」[創立六十年新築落成記念写真帖] 1936年11月

東京における師範学校の成立

【会期】2025年4月11日(金)～6月20日(金)

【時間】[平日] 10:00～16:00

【場所】東京学芸大学附属図書館3階 大学史資料室

【問合せ先】東京学芸大学大学史資料室 [電話] 042-329-7277

[メールアドレス] shiryou@u-gakugei.ac.jp



東京学芸大学
大学史資料室
Office of Tokyo Gakugei Univ. Archives



大学史資料室常設展示によせて

東京学芸大学大学史資料室は、2021年度より附属図書館3階に事務室と閲覧室を開設して、常設展示を行っています。これは、大学史資料室が設立から13年を経るなかで、大学史資料室の機能を一層高めるために取り組むものです。

大学史資料室は、本学の運営及び教育研究等に関する重要な資料、また本学の歴史に関する重要な資料をそれぞれ調査・収集し、その資料の整理、保存及び公開を行うことを任務として出発しました。これは、わが国の教員養成の中核をなしてきた本学の位置を鑑みれば、明治期以来の日本の教員養成の歩んできた歴史の資料を調査・収集し、それを保存・公開していくことと重なります。その意味で、常設展示の実現は、整理・保存してきた資料を継続的かつ安定的に公開する機会を用意できたものであり、その意義は非常に大きいといえます。

常設展示は、年間テーマを設定し、1年間を4～6月、7～9月、10～12月の三期に分けて展示内容を換えて行っています。そしてこれを2年サイクルで回し、1年目のテーマは「師範学校の歴史をふり返る」、2年目は「東京学芸大学のあゆみ」とし、戦前から戦後の本学と教員養成の歴史を辿ります。

2025年度常設展示の年間テーマは「師範学校の歴史をふり返る」で、4月11日から第一期の展示を開始します。第一期のタイトルは「東京における師範学校の成立」です。この展示では、東京学芸大学の前身校である東京府の師範学校はいかに創設され、展開したのか、1873年の東京府小学教則講習所成立から1943年の師範学校の官立化までの時期を中心に当時の資料や写真から読み解きます。展示資料は、東京府青山師範学校や東京府豊島師範学校の『学校一覽』のほか、生徒手帳、校章入りバックル、各師範学校の校舎や生徒の様子が見える写真など多岐に亘ります。また今回は、前身校の一つである東京府豊島師範学校の1939年の入試問題や明治期に師範学校で使用されていた教科書、師範学校生徒の学習ノートなど、当時の師範学校の「学び」に関する資料や、1936年の東京府青山師範学校の世田谷移転に関する写真なども展示しています。

2023年、東京学芸大学は1873年に東京府小学教則講習所として設立されてから150年目の「創基150周年」を迎えました。常設展示は、東京学芸大学とその前身校、附属学校園の歴史を振り返るものです。私たちは、過去から未来へと、小さくとも確実な歩みを進めています。ぜひとも、本学学生、卒業生、教職員、そして関係者のみなさんには、常設展示に映し出される東京学芸大学の歴史とそこで学んできた学生の姿に想いをはせていただければと存じます。

2025年4月11日

東京学芸大学大学史資料室長
副学長・附属図書館長

川手 圭一

Gakugei
Album
2025
Spring

師範学校の歴史をふり返る
學藝アルバム

